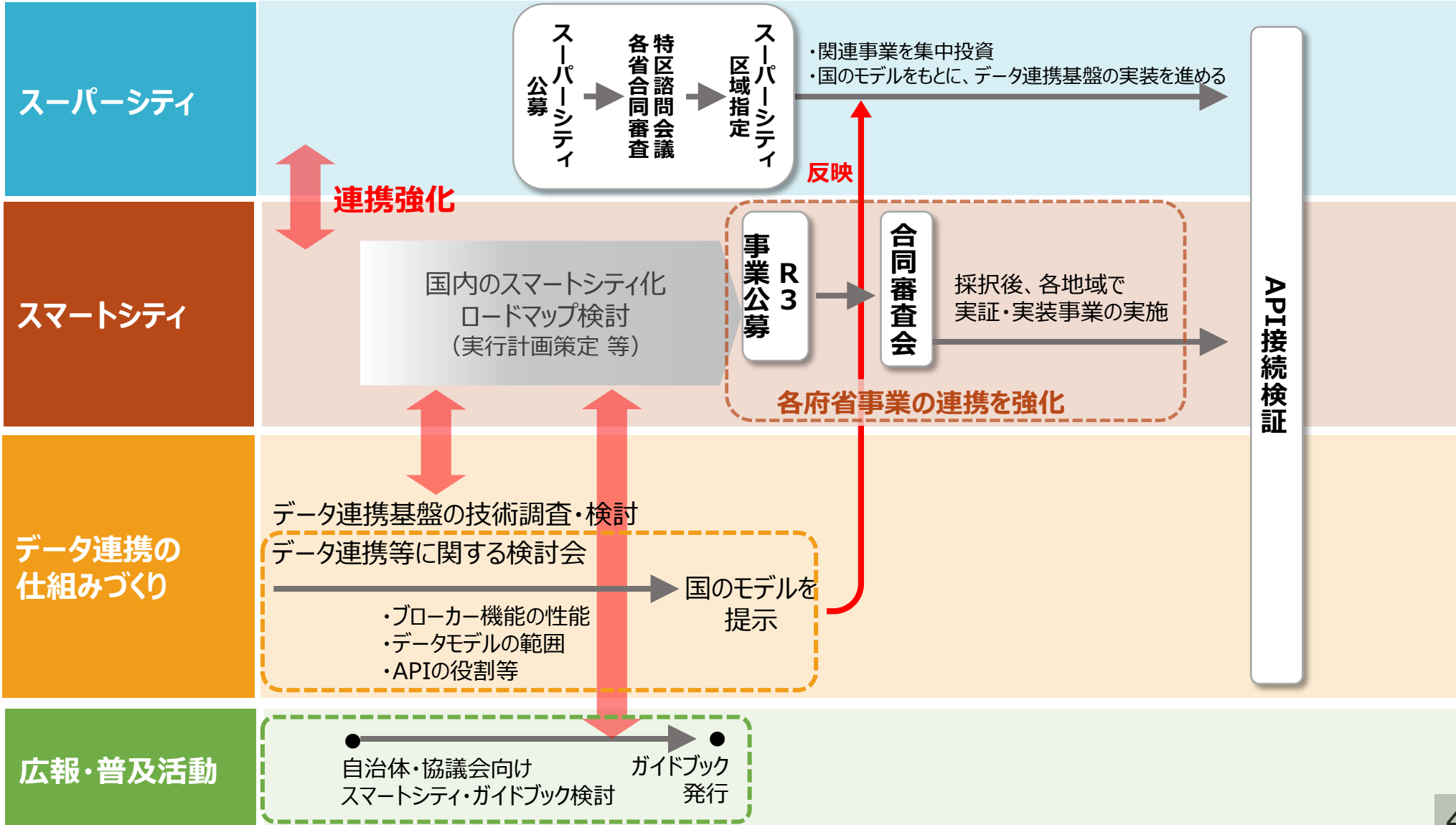


R2-3年度のスマートシティの推進に向けた取組

2020年度							2021年度							2022年度	
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10-12月	1-3月	4-6月

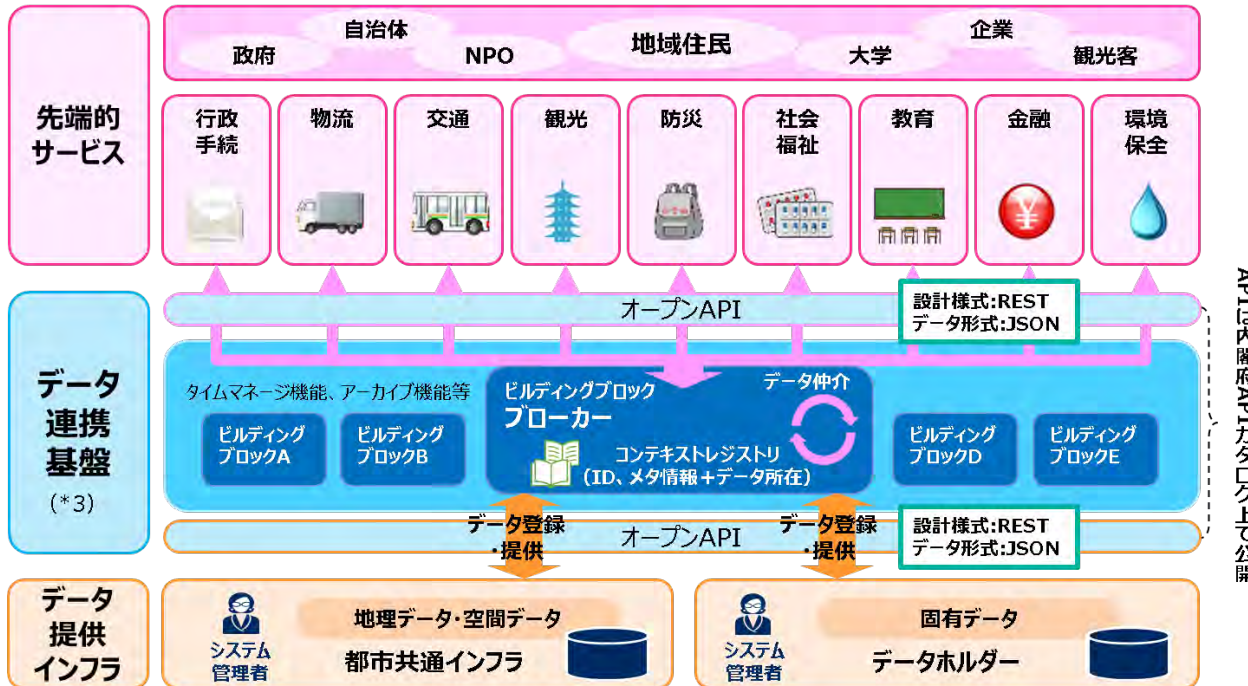


都市OSの社会実装の加速化

- リファレンス・アーキテクチャに沿って技術検討を推進。スマートシティ・スーパーシティに求められる**データ連携の要件をより明確化**。
デジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備と連携。
- 内閣府（地創・科技）が事務局となり、有識者に加え、総務省、経産省、国交省等がメンバーとして参加。

データ連携基盤とオープンAPIの考え方

- ・データ連携基盤の機能である**ブローカーの仲介により**、分散データをAPI（*1）経由で提供する。
- ・**設計様式:REST、データ形式:JSON**を原則とするが、やむを得ない場合は個別に判断する。
- ・データ連携基盤のAPIは**オープンAPI**（*2）とし、内閣府の整備する**APIカタログ上で公開**する。



APIは内閣府APIカタログ上で公開

主な検討項目

データ分散方式のデータ連携基盤について

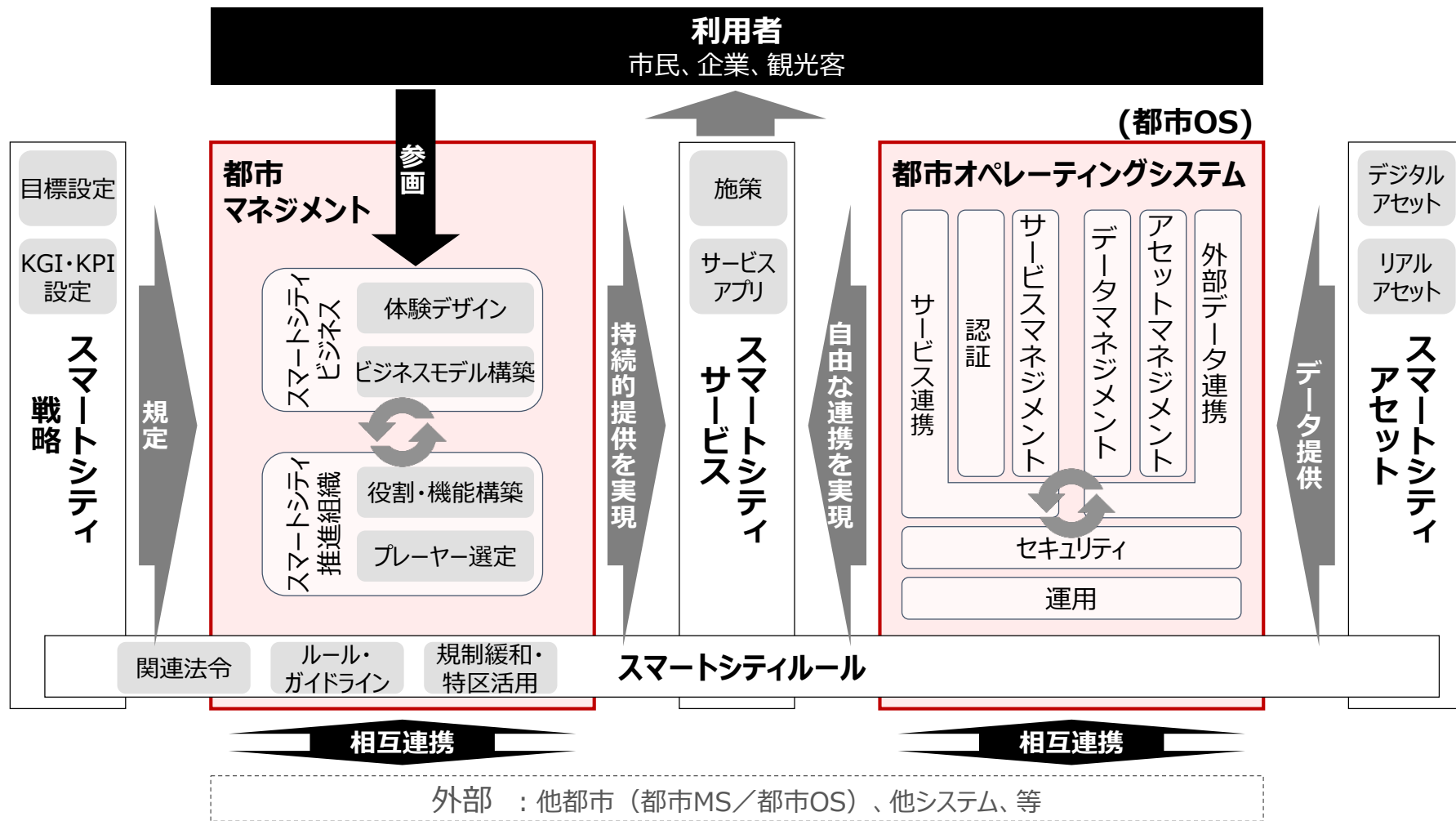
- ①APIの役割とレギュレーション（ルール・仕様等）、公開方法
- ②ブローカー（データ仲介機能）の処理能力等
- ③データ構造の標準化

(*1) API :Application Programming Interface (*2) 狭義のオープンAPI (*3) データ分散方式を推奨。必要に応じてデータ蓄積も許容。

※上記と連動し、自治体向けガイドブック（2020年度版）作成のための検討を行う。

参考：スマートシティ リファレンスアーキテクチャの全体像（令和2年3月公開）

- Society 5.0リファレンスアーキテクチャをもとに、「利用者中心」「外部連携」に焦点を絞り、スマートシティの構成要素間の関係性を図示
- スマートシティを実装する際に決めるべき/考慮すべき事項を整理
 - 「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期 ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術におけるアーキテクチャ構築及び実証研究」で実施



スマートシティ／スーパーシティ推進のための政策体系図（案）

内閣府 作成
※今後各省と調整

- IT新戦略等に基づくデジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備の取組と連携

